
《ごみの出し方》

～ スプレー缶の穴開けについて ～

スプレー缶やカセットボンベ類をごみに出す際は、

必ず中身（ガス）を出し切ってから穴を開けて

「燃えないごみの日」に出してください。

全部使い切ったつもりでもガスが残ったままになっていることがあります。そのまま捨てると、収集車や処理場での火災の原因にもなります。

スプレー缶やライターからの出火が原因の収集車の火災が久慈広域連合管内でも発生しています。（平成 27 年度 2 件、平成 30 年度 1 件）

火災の発生を抑えるためにも、スプレー缶は中身を出し切り、穴を開けてから排出してください。

また、ライターもしっかりガスを出し切ってから排出してください。

！ 注意事項 ！

- 風通しが良い屋外で行う。
- 火の気が無い場所で行う。
- 周りに人がいないか確認する。
- 自分の顔や衣服にもかからないよう風向きを確認する。
- 穴開けは、完全に中身（ガス）を出し切ってから行う。
- 一度に大量の穴あけ作業を行わない。

